

大学の世界展開力強化事業（平成25年度採択）中間評価結果表

大 学 名	筑波大学
整理番号	2
事 業 名	アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	
<p>本事業は、筑波大学が中心となり、マレーシア7大学、インドネシア4大学、タイ5大学、ベトナム2大学、フィリピン4大学、ブルネイ1大学の計23大学と連携し、筑波スタンダードをベースとして、国際環境適応力を備えた専門性の高いグローバルリーダーを育成することを目的としており、全学をあげて組織的に進められている。</p> <p>本事業の特徴は、非常に多くの国と大学を対象として、幅広い分野に間口を広げていることにあるが、実施に当たり、質・量ともに困難が予想された取組が着実に進められており、高く評価できる。GPAの導入、成績管理の仕組みなど、相手大学と共同して分野ごとに細かく教育プログラムが構築されており、受入学生と派遣学生間のインターアクションを図る「グローバル課題ディベート演習」など魅力的な交流プログラムの提供が行われている。</p> <p>受入のための環境整備については、e-learningによる日本語教育プログラムの提供といった渡航前準備が用意され、受入後の対応もオリエンテーションの実施などにより適切に行われている。また、中間評価までの交流学生数については、受入学生数は数値目標を上回っており、派遣学生数についてもおおむね数値目標どおりとなっている。</p> <p>組織横断的なグローバル・コモンズの活用や教職員の英語力の強化に取り組んでおり、また、大学直接の情報発信に加えて、海外7拠点を介した発信も行われるなど学内外のリソースを最大限に活用することで、効果的に取組の運営が行われている。更に、相手大学の拡大やASEAN地域にある海外拠点の活用など、今後の更なる展開への意欲も認められることから、事業目的を達成することが期待される。</p>	